

# 大船渡市消防団だより

第6号

平成18年6月20日発行



特集「特別表彰 まとい」受章

『消さないで あなたの心の 注意の火。』

2006年度全国統一標語

編集：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 TEL 0192-27-2119）



# 「特別表彰 まとい」受章あいさつ

## 大船渡市消防団長

### 紀室 若男

この度、我が大船渡市消防団は、消防団として最高の表彰であります日本消防協会「特別表彰 まとい」を受章しました。

これは、大船渡市消防団の長い歴史と輝かしい伝統の中で、日夜努力を重ねてこられました先輩諸兄の功績の賜であります。

これまでも、規律厳正、技能熟達、成績抜群など常日頃の消防団活動が評価されまして、昭和三十五年に日本消防協会表彰旗を受章し、さらに昭和四十四年には消防庁長官表彰旗を受章いたしました。その後も数々の栄誉ある受章に甘んずることなく、技術の錬磨と消防施設の充実強化、団員の資質向上に努め、平成三年と平成十六年にも日本消防協会表彰旗を受章し、平成十七年には消防庁長官より地域活動表彰を受章するなど、つねに高い評価を受けつづけ、この度の「特別表彰 まとい」受章の運びとなりました。

本年、二月十日に、東京虎ノ門のニッショーホールで行われた表彰式におい

て、日本消防協会徳田会長より「特別表彰 まとい」を授与され、改めてこの章の重みを実感した次第であります。

これからも、この受章を励みとし、市民の生命、財産を守る消防精神を末永く受け継いでいく所存であります。

市民の皆様方には、大船渡市消防団に対しましてこれまで以上のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、今回の受章に際しまして、岩手県消防協会の佐々木会長をはじめ、役、職員の皆様には多大なお力添えを賜り、この紙面をお借りいたしました。衷心より御礼を申し上げます、受章のあいさつといたします。



## ニューフェイス紹介



所属 第5分団第3部  
氏名 古内 清満

年齢 19歳  
特技 野球  
趣味 運動

### 好きな女性のタイプ

料理が上手で一緒にいてあきない人

### 入団したきっかけ

父親のような消防団員になりたいから。

### 消防団に対する希望

地域に貢献できるよう一生懸命頑張ります。

### 先輩から一言

共に大船渡市No.1を目指しましょう！



所属 第4分団第4部  
氏名 及川 宏之

年齢 31歳  
特技 車の板金塗装  
趣味 草野球・バレーボールなど

### 好きな女性のタイプ

自分より背の低い人です。  
(妻です)

### 入団したきっかけ

分団長直々に誘われ断れませんでした。

### 消防団に対する希望

末崎のために頑張ります。

### 先輩から一言

消防活動など大変なときもあるが楽しんで頑張ろう。



所属 第2分団第1部  
氏名 吉田 聡

年齢 19歳  
特技 スポーツ  
趣味 ドライブ

### 好きな女性のタイプ

ひみつです。

### 入団したきっかけ

災害の一つをなくすため！

### 消防団に対する希望

第2分団第1部は最高なので何もナシ。

### 先輩から一言

「自分の町は自分で守る」若くて明るい、そしてガッツのある聡君ならきっとやってくれます。市民の皆さん期待してください。

# 「特別表彰 まとい」表彰式からの経過



2月10日  
東京虎ノ門の  
ニッショーホールで表  
彰式が行われ  
紀室団長が受  
章消防団の代  
表で指揮をと  
りました。



二月十六日甘竹市長に受章報告  
を行いました。



二月二十日～三月十四日まで、  
大船渡市役所に展示しました。



三月十九日(日)大船渡プラザホテルで  
祝賀会が盛大に挙行されました。



婦人防火太鼓と寺町一座のみなさんが、祝賀会を  
大いに盛りあげてくださいました。

# 長い間ごくろうさまでした



平成18年3月31日付退団者名簿

退団当時		氏名	4-2	部長	新沼 竜也	9-4	団員	杉山 弘輝
所 属	階 級							
団本部	部長	栗村 悟	4-4	団員	後藤 友宏	10-1	団員	吉田 康洋
1-2	部長	及川 政人	4-5	団員	村上 誠	10-4	部長	川上 光治
1-3	部長	樋渡 正徳						
	班長	平山 光弘	班長	臺 孝義	11-2	班長	仁田 俊治	
1-4	班長	佐々木裕勝						5-2
2-本	班長	大久保善房	6-本	部長	崎山 辰雄	11-5	部長	渡邊 直哉
2-1	分団長	佐々木嘉幸	6-2	部長	千田 忠男			
	班長	佐藤 淳文				7-本	団員	金野 寿行
2-2	団員	小西 将介	7-1	班長	佐々木 晋			
	部長	松田 将俊				7-2	班長	小松 哲
2-4	部長	佐藤 寿也	7-3	部長	中川 修			
	班長	金野 淳				9-本	部長	和田 弘文
3-本	班長	佐々木慎二	9-1	部長	稲沢 英彰			
	団員	佐々木 健				9-2	部長	佐々木信一
3-1	団員	中原 学	9-3	分団長	佐藤 正明			
	部長	及川 欣也				9-1	部長	佐々木 毅
3-2	団員	佐藤 達也	9-2	部長	伊藤 利勝			
	部長	和野 勇				9-3	部長	新沼 安
3-3	部長	浦嶋 健	9-1	部長	舟野 幸洋			
4-本	分団長	大和田 琢	9-2	班長	高木 茂樹	12-3	班長	伊藤 英親
		及川 博幸	9-3	班長	佐藤 正和			
		武田 満		団員	猪股 勝信			

## 退団者あいさつ

三月三十一日をもって退団した五名の方からあいさつをいただきました。



前第二分団長  
佐々木 嘉 幸

このたび三月三十一日をもって退団いたしました。昭和五十八年四月に消防団を拝命以来二十三年間にわたり、大過なく今日を迎えることができたのは、ひとえに団長をはじめ皆様方の温かいご指導の賜と心から厚くお礼申し上げます。

顧みますと幾多の火災、災害出勤、消防行事を経験させていただきましたが、その時々によく先輩方の助言、良き後輩の協力を頂き、消防団の任務を遂行してきたことは私にとって大変幸せなことであります。

現役の皆さんにおかれましては、近い将来高い確率で来襲するであろう津波災害や、団員の不足等々消防団を取り巻く環境は厳しいものではありますが、義勇・愛郷の精神を持って市民の生命、財産を守るため、ご精進くださいようお願いいたします。私も消防団OB、一市民として微力ながら消防団を支援してまいります。最後に、大船渡市消防団のますますの発展を祈念いたします。退団のあいさつといたします。長い間大変お世話になりました。



前第四分団長  
武田 満

私が消防団に入団したのは、出稼ぎを止めて間もなくの事でした。当時、父親が消防団を辞めたばかりで、「出稼ぎから帰って来たら消防に入る。」と四部の部長に言ったそうで家に半纏が置いてありました。私もその気にはなっていたものの不安でした。

入団当初はあまり消防活動に参加せず父親から怒られていました。消防に打ち込みはじめたのはポンプ操法競技会の選手になってからでした。うちの部は成績が悪く、何とかしなくてはと奮起し、部の仲間とひとつになつて優勝を目指したことをなつかしく想います。

また、消防に入つて纏組員、ラツパ隊長といろいろな事を経験し、自分にとつても良い体験をし、良い先輩方、団員にめぐり逢えた事にとつても感謝しています。私をここまで支えてくださった分団や団本部の皆様方、そして後援会の方々には本当に感謝申し上げます。

これからは、OBとして消防団に協力していきたいと思っております。また、皆様にはこれからも健康には十分注意し、大船渡市無火災を目指して予防活動をお願いします。本当にありがとうございます。



前第九分団長  
佐藤 正明

二十八年間の消防活動の退団にあたり、一言挨拶を申し上げます。

今回、無事に役目を終えて退団出来たのも諸先輩をはじめ団員の方々のご指導とご協力があつたからだと思います。この場を借りて御礼を申し上げます。

私の入団のきっかけは、地域の先輩が家に来て、「都合の良い時だけ出てくればいいから。」と言って、印鑑と引き換えに半纏を置いて行かれた時から始まりました。

それから二十八年間いろいろな活動を通して、消防団とは市民の生命、財産を守るため、地域の人々と連携を図り、活動していく事が大切であることを学びました。また、分団を超えた多くの良き友に巡り会うことが出来る場所であり、他には経験の出来ない人作りの場と想っています。このような、経験をさせてくれた先輩達に感謝しております。

今後は、今までご指導、ご協力を頂いた分陰より支援、協力していきたいと思えます。

最後に義勇と愛郷のもとに、大船渡市消防団のますますの繁栄と更なる活躍、そして防災無線からサイレンが鳴らないことを祈りいたします。長い間ありがとうございました。



前第十二分団長  
佐々木 弘之

この度、三月三十一日付を持ちまして大船渡市消防団第十二分団長を退任いたしました。

二十八年間消防団員として微力ではございましたが三陸町民のため、合併してからは大船渡市民のためご奉仕させて頂いたできました。この間、皆様には公私両面にわたり未熟な私のため何かとご指導、ご協力を賜り本当に感謝しております。あれやこれやのため、とかく休みが多く団員の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。本当に恐縮しております。幹部の皆様にも、「もう一年頑張れ。」と激励

されましたが、諸般の事情を踏まえてこの際思い切って身を退くこととしました。



消防の半纏には

消防魂と諸先輩方から受け継いだ血の滲むような努力と、言葉でいい表せない重みがあると云われています。まさにそのとおりであり、半纏を脱いだ今、虚脱を感じる日々であります。

今後は健康に留意し、皆さまからいただいた温かいご厚情を胸に、消防団OBとして協力して参る所存でございます。

おわりに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ退任の挨拶いたします。長い間ありがとうございました。



前団本部 部長  
栗村 悟

先日は、私達のために盛大な送別会を開催していただき、誠にありがとうございました。

昭和五十六年の入団以来二十数年、私の様な未熟者が消防団員を勤め上げられたのも、周囲の消防団の皆様方に支えられたお陰であり、深く感謝しております。

消防団活動の中で想い出に残っているのはやはり操法競技会でしょうか。私は隊員の時には最下位でしたが、指揮者としては地区大会で優勝するという貴重な経験をしました。

また、団付部長の辞令を受け、ラッパ隊に配属となり、副隊長、隊長としてラッパ隊を指揮したことや、各分団の隊員達との交流は非常に有意義な経験でした。

団長をはじめとする団本部の皆さん、大変お世話になりました。

私は消防団を去りましたが、これから一般市民、OBとして側面より消防団に協力させていただきます。簡単ではありますが、退団のあいさつとさせていただきます。



## 平成18年度新任団員名簿 (H18.5.20現在) NEW FIRE FIGHTERS

所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名
1-4	佐々木雄司	4-5	菊池 信幸	8-1	志田 寿人	9-5	大森 渉
2-1	吉田 聡	5-1	大澤 一真	8-2	吉田 大将	11-1	矢作 陽仁
2-2	濱野 裕貴		熊谷 淳希		鈴木 英徳	11-6	山崎 太樹
2-3	上村 久司	5-3	志田 勇人	9-1	佐藤 裕一	12-4	松川 寛幸
	栗村 充		古内 清満	9-2	鈴木 広大		松川 和彦
3-2	及川 貴士	6-1	小野寺博幸		9-3		新沼 公也
4-4	及川 宏之	7-2	山口 隆三	9-3			笹野 隼人
	後藤 利喜		金野 博之		舟野 哲仁		

# 新任分団長あいさつ

平成十八年度に任命された四名の新任分団長にあいさつをいただきました



第二分団長  
新沼 哲

今年度四月より、大船渡市消防団第二

二分団の分団長に就任しました新沼哲です。伝統ある第二分団のトップとして、半纏の重さを感じております。我が第二分団は企業や商店街、団地、学校とあらゆる面で街の中心であり、いつ火事があってもおかしくない環境にあります。また、岸壁が近くにあり、津波や台風などの水害も気をつけなければならぬ地域です。一人一人の団員が、そのことを意識して自分たちの地域は自分たちで守るという気概を持ち、自分自身も改めて防災への決意をしたところです。また、自主防災組織や婦人防火クラブ、地区公民館との連携を密にし、有事の際にはすぐ行動できるようにしたいと思っております。まだまだ未熟者で、多々、皆様方に御迷惑をかけると思いますが、どうぞ温かいご支援、ご鞭撻をよろしく願います。



第四分団長  
高橋 光寿  
昭和五十二年消防団に入団し、今

年三十年目を迎えました。

入団したのは高校を卒業し就職が決まり、さあこれから社会人のスタートという時の三月末の事でした。夕食中に赤い半纏と清酒一升を持って当時の幹部の方が見えて、自分の意思と関係なく父と幹部の間で入団を決められたことを思い出します。

二十九年間消防活動をしてきた中で確かにつらいことも多少はありましたが、それ以上に自分の為にプラスになり、財産になる事の方が多かったと自分は断言できます。地元の先輩・後輩団員、団本部を通じて知り合った団員、纏組の組員、矢巾の消防学校で一一緒に研修を受けた県内各地から派遣された団員等、自分にとっかけがえのない仲間・友達がたくさん出来たことに喜びを感じます。

過去に百五十三の団員を抱えていた当分団も現在百二十名と団員不足が深刻です。少子化等の影響も多少はあるかもしれませんが、消防団員になることを敬遠する若者がいるのも事実です。私たち分団をはじめ各部それぞれ一生懸命団員確保に努めて参りますので、地域の皆様にも是非ご協力をお願い申し上げます。



第九分団長  
平山 哲也  
四月一日より大船渡市消防団第九

分団長を務めることになりました。新任にあたり一言抱負を述べさせていただきます。

まず、分団運営の課題として、団員の減少があげられます。団員の確保には、何より地域の皆様の消防団活動に対する、ご理解とご協力が必要であります。若い人が入団しても、消防団活動に馴染めないまま、数年でやめてしまう団員もいます。本当に残念なことであります。

私は、団員相互の親睦と、地域住民との交流を深め、より良い環境作りをして行きたいと思っております。自分たちの地域は、自分たちで守る、という郷土愛護の精神に基づき、これからも予防活動、各種訓練に努力して行く所存でございます。

最後に、私たち消防団は、市民の皆様が安心して暮らせる街作りを目指し、地域の皆様に愛される消防団を築いていきたいと思っております。

## 消防団員募集中!



第十二分団長  
佐藤 善公  
私が入団したのは、昭和五十四年四月一日でした。それから平成十八年四月で二十七年になります。

この四月から分団長という大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しています。自分なりに一生懸命住民の生命や財産を守るため、努力していかなければならないと思っております。

当地区は火災のみならず、津波に対する備えも必要であり、高齢者等で避難が容易でない家庭の把握や避難誘導の方法など、その地域の実情を十分理解していなければなりません。

今後、ますます地域の安心・安全の要として、住民の期待が高まっております。分団員が一丸となつてその期待に応えられるよう、日々精進し任務遂行に努めたいと考えております。



出初式での纏披露

大船渡市消防団歴代優勝分団

(昭和44年～平成17年)

自動ポンプの部		小型ポンプの部			
分団名 (屯所名称)	回数	分団名 (屯所名称)	回数	分団名 (屯所名称)	回数
第5分団第2部 (蛸ノ浦)	11回	第5分団第1部 (長崎)	15回	第11分団第4部 (浦浜)	2回
第6分団第3部 (佐野)	6回	第5分団第3部 (清水)	8回	第1分団第3部 (八幡町)	1回
第2分団第1部 (茶屋前)	5回	第1分団第1部 (上木町)	6回	第4分団第4部 (梅神)	1回
第3分団第2部 (宮ノ前)	5回	第9分団第3部 (平山)	3回	第4分団第5部 (門ノ浜)	1回
第6分団第2部 (中赤崎)	5回	第2分団第4部 (須崎)	2回	第7分団第2部 (長谷堂)	1回
第4分団第6部 (泊里)	2回	第9分団第2部 (鷹生)	2回		
第6分団第1部 (永浜)	2回	※旧三陸町は平成14年度以降の成績です。			
第2分団第3部 (浜町)	1回				
第4分団第2部 (細浦)	1回				



昨年度の大会結果

	自動車ポンプの部	小型ポンプの部
第1位	第6分団第2部 (中赤崎)	第11分団第4部 (浦浜)
第2位	第4分団第6部 (泊里)	第5分団第3部 (清水)
第3位	第3分団第2部 (宮ノ前)	第9分団第4部 (長安寺)



(指導会の様子)



(激闘の地 永浜貯木場)

六月二十五日(日)午前八時から赤崎町永浜貯木場において消防操法競技会が開催されます。当日は多数の皆さんにご観覧いただき、地域の防災の要である消防団員に暖かい激励をよろしくお願い致します。

大船渡市消防操法競技会開催!

ニューフェイス紹介



所属 第12分団第4部  
氏名 佐藤 雄太

年齢 19歳  
特技 バレーボール・野球  
趣味 特になし  
好きな女性のタイプ 性格が良く、心のやさしい人  
入団のきっかけ 父親の勧めで  
消防団に対しての希望 多くの団員と交流を持ちたい  
先輩から一言 団員の一員としてみんなから信頼されるように頑張ってください。



所属 第8分団第2部  
氏名 吉田 大将

年齢 27歳  
特技 特になし  
趣味 ビリヤード  
好きな女性のタイプ 優しい人  
入団のきっかけ 消防団の先輩の誘い  
消防団に対しての希望 わからない事ばかりなので先輩方のご指導をよろしくお願い致します。  
先輩から一言 これから始まる消防生活難しく考えず一緒に頑張ろう(´▽`)



所属 第7分団第2部  
氏名 山口 隆三

年齢 27歳  
特技 水泳  
趣味 自動車整備  
好きな女性のタイプ 妻の様な女性  
入団のきっかけ 地域の方々の役に立ちたいと思ったから。  
消防団に対しての希望 精一杯頑張りますのでお手柔らかにお願いします。  
先輩から一言 とともに地域のため消防団のため一緒に頑張らしましょう。

雑感



消防団顧問

熊谷章

「酒はうまい。つくづく思う。うちの父、赤い半纏着れば呑む。」

誰が言ったのか？自分の事では？

私が消防団に在籍した三十一年間はまさにそのとおりであった様に感じますが、ただ呑んだのではなく、団員の団結と融和のためであり、地域の先輩から若者達と一体となって義勇と愛郷の精神のもと、消防使命を果たして行くための酒だったのだ、と自分なりに考えています。

さて、今年も操法競技会の時期が近づき、各分団では訓練が始まっているようですが本当にご苦労様です。自分が選手、指揮者だった頃には失敗ばかりで皆に迷惑をかけていた様な気がしますが、今は後輩達がしっかりとやってくれているので、心強く思っています。操法競技会の訓練は、有事の際の基本的動作を学ぶ最良の場だと思つて、これからも地域住民のために頑張つて下さい。私達住民も団員の皆様への感謝の気持ちを忘れません。

近い将来、宮城県沖を震源とする大地震が発生すると言われている現在、団員、住民共に一層の防災意識の高揚に努めなければならぬと思います。

最後に、消防団並びに皆様の一層のご活躍をご祈念申し上げて結びといたします。

月別行事

- 六月 大船渡市消防操法競技会
- 七月 気仙地区支部消防操法競技会  
岩手県消防操法競技会
- 八月 お盆特別警戒
- 十月 秋季消防演習
- 十一月 秋季火災予防運動  
一般家庭火防点検
- 十二月 夜警開始  
年末特別警戒
- 一月 年始特別警戒
- 三月 春季火災予防運動  
一般家庭火防点検



ニッポン放送のラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」で「大沢親分」ことプロ野球評論家大沢啓二さんと対談している紀室団長

火災発生状況

平成18年1月1日～5月31日

種別	件数
建物火災	1件
林野火災	0件
車両火災	0件
その他火災	1件
合計	2件

表紙写真真説明

平成十七年度日本消防協会より「特別表彰まとい」を受章しました。この表彰は消防庁長官表彰の授与や全国消防操法大会への出場経験など幾多の条件を備えた全国でも数少ない消防団へ授与されるもので、「まとい」は消防団へ与えられる賞としては、国内消防団最高榮譽の表彰です。

（関連記事 2・3ページ）

編集部より

五月二十一日（日）快晴

今年も新入団員が五月晴れの下、辞令を受けた。真新しい半纏、そして緊張した若者の顔が初々しく清々しい。

遠い昔、自分にもこんな時代があったのだろうが記憶にない。火事を消し、人を探し、土のうを積みながら、いつの間にか半纏もよれよれになり、それがかつこいと思ひ、自信と自負心にあふれ、だんだん「ぬし」のような気持ちになつてくる。

「花は桜木、男は消防」という心意気はもちろん良しとするが、しかし、その傍らでいつも「半纏の上にあぐらかくべからず」という謙虚な気持ちを持って半纏を着ようと思う今日この頃である。さあ、今度は操法だ。



編集部（団本部）